

現在の「富富富」の生育は、昨年と比べて、草丈はやや長く、茎数は少なく、葉色はやや淡いですが、圃場による差が大きくなっています。また、現在の生育の進みから、幼穂形成期は7月10日頃（5月14日植え）と予想されます。

幼穂形成期頃から出穂期までに、葉色が濃く茎数が多いと着粒数が過剰となり、青未熟粒の増加や、玄米タンパク含有率（目標値 6.4%未満）が高くなるなど、品質や食味が低下します。

今後は、①適正な水管理と、②的確な穂肥施用（分施の場合）で、良食味・高品質な「富富富」を生産しましょう。

表 「富富富」の生育状況(7月6日現在)

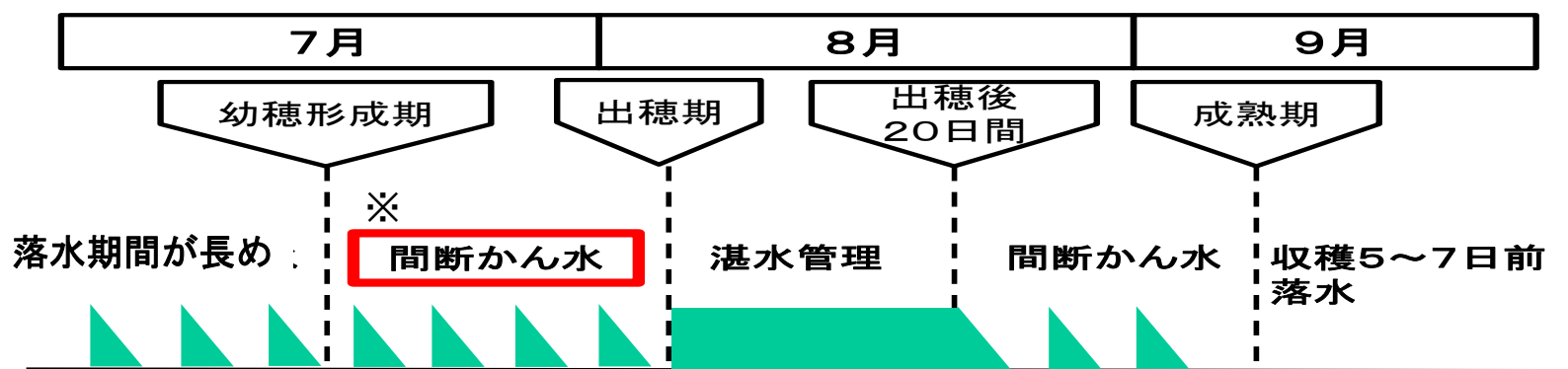
	草丈 (cm)	茎数		葉令	葉色	幼穂形成期
		本/株	本/m ²			
令和2年	60.8	24.8	547	12.0	4.0	7/10（推定）
令和元年	57.6	26.5	595	11.2	4.2	7/11
平成30年	57.3	27.5	578	11.4	4.2	7/11

1 幼穂形成期以降の水管理

【水管理のポイント】

- 本年は葉色が濃く推移していることから、幼穂形成期以降は**間断かん水**を行いましょう。
- 出穂期から20日間は**湛水管理**、刈取り5～7日前までは、**間断かん水**を徹底しまししょう。

《水管理のイメージ》



※ただし、幼穂形成期の葉色が4.0を下回るようであれば、飽水管理に切り替えましょう。

2 幼穂形成期頃の生育の目安と穂肥施用

【富富富の幼穂形成期の生育目安】

- 幼穂形成期の草丈は **62cm**、茎数は **580本/m²**、群落葉色は **4.0** が目安です。
(穂揃期の群落葉色は、**4.4** に誘導します。)

【肥効調節型肥料(基肥一発肥料)栽培】 原則、追加穂肥は施用しないでください。

【分施栽培】 土壌地帯別の穂肥施用量と時期

土壌区分	肥料名	10a 当り施肥量	
		1回目(幼穂形成期から7日後)	2回目(1回目の7日後)
砂壤土	追肥3号	5～7kg	10～13kg
壤土 黒ボク		5～7kg	10～12kg
粘質土		5～7kg	10kg

注意 幼穂形成期に茎数 580 本/m²(70 株植えの場合は、27 本程度/株)より多く、または、群落葉色が 4.0 より濃い場合は **1 回目穂肥は施用せず**、2 回目穂肥の時期に **追肥3号**で **10kg/10a** 施用して下さい。

3 病害虫防除

【基本防除のポイント】

- 化学合成農薬（殺虫殺菌剤及び除草剤）の成分使用回数は12以内（地域慣行レベルの3割減）。
- 「穂いもち」や「斑点米カメムシ類」の防除は「コシヒカリ」に準じて行いましょう。

JAアルプスの「富富富」の病害虫防除体系例の<一般タイプ>と<省成分タイプ>のいずれにおいても下表のとおり基本防除を実施して下さい。

防除時期	穂 揃 期	傾 穂 期
粉剤	ラブサイドキラップ粉剤 DL 4kg/10a(収穫14日前まで)	スタークル粉剤 DL 3kg/10a(収穫7日前まで)
液剤	ラブサイドフロアブル 1,000倍(収穫7日前まで) + キラップフロアブル 1,000倍(収穫14日前まで)	スタークル液剤 10 1,000倍(収穫7日前まで)
	散布量: 150ℓ/10a	散布量: 150ℓ/10a
対象 病害虫	いもち病、カメムシ類、 ウンカ類	カメムシ類、ウンカ類、 ツマグロヨコバイ
成分数	2	1



斑点米カメムシ類防除で斑点米の発生を防ぎましょう。



斑 点 米

【栽培要件の再確認】

○現在までの化学合成農薬の使用状況と今後の使用予定を確認し、基準内となっていることを必ず確認しましょう。

- ・「富富富」には栽培要件として「化学合成農薬の成分使用回数:12以内」という要件があります。
- ・この栽培条件を満たさない場合は、「富富富」として、消費者に販売することができません。
- ・「富富富」通信第2号裏面のJAアルプス取扱い農薬一覧の成分数を参考にして、現在までの化学合成農薬の使用状況と今回の使用予定を確認し、基準内となっているかどうか、今一度確認しましょう。

これまで に使用した もの	区分	農薬名	成分数	今後、 使用する もの	区分	農薬名	成分数	
	育苗関係				本田防除			
	苗箱剤							
	除草剤							
	本田防除				小計			
小計				合計(使用実績+今後使用予定)				

※紋枯病防除にバリダシン粉剤 DL、バリダシン液剤を使用した場合、成分数のカウントは不要です。

※不明な点があれば、各営農経済センター又は農林振興センターまでご相談下さい。

次回の「富富富」通信(収穫乾燥調製等)は、8月19日頃の発行予定です。